

企業訪問

【日 時】 8月25日
【訪問場所】 サムソン株式会社 BIKEN
【参 加 者】 1年生希望者25名参加

夏休みの課外が終った午後、地元企業のサムソン株式会社、BIKENの訪問をしました。ボイラの事やワクチンの事など詳しく学ぶことができました。以下は参加生徒の感想です。

サムソン株式会社

- ・今回の訪問で、企業が常に新しいことに挑戦し、社会や人々の生活をより便利にしようとしていることがわかりました。ボイラの規模を大きくするためには何を必要があるのか気になりました。
- ・作業効率向上のためにアプリを設計から考えて開発を行っていることを知り、機械の開発などだけではない、見えないところでも仕事があるんだと思った。
- ・今回の企業訪問を通して「働く」ということを身近に感じることができ、将来の自分のイメージを少し持つことができました。



BIKEN

- ・今日の企業訪問を通して、生物学も面白いんだなと思いました。特にウイルスが増えていく仕組みや、ワクチンの効果がでる仕組みは、不思議なことが多く、面白かったです。BIKENでは、社員の男女比がほぼ1対1で、理系の分野で活躍している女性も多いことがわかり、魅力的だなと感じました。
- ・ワクチンづくりの工程を知ることができて更に医療分野への興味が高まりました。薬学部を目ざそうと思っていたけど、生物系の分野も面白そうだなと思いました。
- ・薬やワクチンなどの制作、生物の細胞に興味があったので、ワクチンを作っている様子をあんなに近くで見ることができてとても楽しかったし勉強になりました。

課題研究紹介

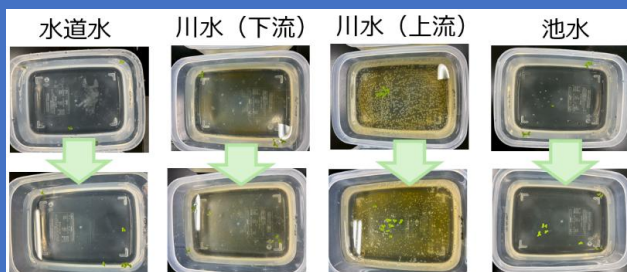
生物分野



3年生理科では3人1組で10チームが課題研究に取り組んでいます。その研究内容についてシリーズでお伝えします。

研究テーマ「水草の成長に影響する微生物の探索」

香川県内の複数の湖沼で水草の繁茂が問題となっている。2008年に山賀らによってアオウキクサ(Lenma aoukikusa)の個体増加を促進する微生物が発見された。そこで身近にも水草の成長速度に影響する微生物がいるのではないかと探索を始めた。まだ微生物の発見には至っていないが、今後水中から微生物を発見したいと考えているため初めに異なる水を用いた増殖比較の実験を行った。今回の実験はアオウキクサ(Lenma aoukikusa)を用いた。学校近隣の川などの数箇所から水を採取した。採取した水と比較対象として水道水を用いてアオウキクサを1週間栽培し、葉の増加枚数を記録した。統計処理を行った結果、どの水も水道水との間の差は有意ではなかった。今後は試行回数や水の種類を増やしていきたい。また、今回の実験は水質の影響を排除できていないため、水をフィルターにかけた実験も行っていきたい。



第14回香川県高校生科学研究発表会(7月)ポスター発表部門:審査員受賞

第12回かはく科学研究プレゼンテーション大会(8月)ステージ発表部門:奨励賞受賞

このSSH通信は観音寺一高のHPでも見ることができます。